

登録コード	A4C43200	開講年度	2026			
授業科目	森林生産実践演習				担当教員	小林 元 他
英文授業名	Practice on Forest Plantation					三木 敦朗・守口 海
単位数	2	講義期間	前期(前半)	曜日・時限	金曜・1時限 金曜・2時限 金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限	対象学生
講義室	現地		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2025Aカリ					
	【2025年度以降カリキュラム対象】2. 【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身についている。				⇔	人工林の初期保育に関する専門的な学識と技術が身についている。
	【2025年度以降カリキュラム対象】3. 【情報分析・発信力】 論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。				⇔	論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース					
(4)授業の概要	演習林手良沢山ステーションにおいて、技術職員とティーチングアシスタントの上級生らと共に、人工林育成のための初期保育作業を学びます。					
(5)授業計画	第1回 ガイダンス、鉋研ぎ 第2回 山道の歩き方、地拵え 第3回 植林 第4回 つるきり・除伐 第5回 間伐調査（間伐候補木の選定） 第6回 間伐、枝打ち 第7回 木材市場見学、チェーンソーの操作と整備、丸太切り 第8回 下草刈り、レポート作成、アンケート回答 eラーニングにて安全講習（フィールド作業）を受講し、テストに合格しておくこと。実習で指定する鉋と鋸、スパイク地下足袋、砥石等を購入すること。前日は早めに就寝し、朝食をしっかりと食べ、体調を万全に整えて実習に望むこと。 なお授業計画は、自然や樹木を相手にすることから、その時の状況判断によって変更・入れ替えがおこなわれることがある。					
(6)自主学習の指針	演習のテーマについて、教科書（山造り承ります、森を育てる技術）と参考書（豊かな林業経営実践技術ガイド、林業機械・道具と安全衛生）を用いて予習・復習して下さい。					
(7)成績評価の基準	評価基準は以下の通りです。 秀：90点以上（授業の達成目標の水準からみて卓越している） 優：80～89点（授業の達成目標の水準よりかなり上にある） 良：70～79点（授業の達成目標の水準よりやや上にある） 可：60～69点（授業の達成目標の水準にある） 不可（D）：50～59点（授業の達成目標の水準よりやや下にある） 不可（E）：49点以下（授業の達成目標の水準よりかなり下にある） 体調不調等のやむをえない理由によって欠席する場合は事前に申し出ること。					
(8)事前事後学習の内容	授業計画に記載されている授業内容やテーマについて、理解しておくこと。教科書を用いた事前学習と、配布資料や参考書・HPなどをもとにした事後学習を行うこと。					
(9)テストやレポートの予定	演習で学んだ内容について、レポートや日報を課します。また、演習で行った調査データの解析とデータをレポートとして提出していただきます。					
(10)成績評価の方法	演習のレポート、実習の習熟度、受講態度で評価します。					
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室訪問による質問を受け付けます。AFC棟2階E205号室。内線2607。直通0265-77-1533。					
(12)履修上の注意	eラーニングにて安全講習（フィールド作業）を受講し、テストに合格しておくこと。実習で購入した鉋鋸(1,200円程度)、スパイク地下足袋(5,000円程度)、砥石(1,000円程度)等を持参すること。服装は作業着とし、軍手、帽子を忘れずに着用すること。雨具を用意すること。学生教育研究災害傷害保険、または、学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険、あるいは上記に準ずる保証内容の保険（大学生協共済含む）に加入していること。					
【教科書】	山造り承ります 島崎洋路 川辺書林 森を育てる技術 内田健一 川辺書林					
【参考書】	豊かな林業経営実践技術ガイド 全国林業改良普及協会 編 林業機械・道具と安全衛生 鶴岡政明 月刊『林業新知識』編					